

言い換え

田中 愛子

ミサイルを防衛装備と呼ぶ国が汚染に非ずと流す処理水

「処理水」と必死で言いかえねばならぬ我らは何とたたかって
土屋進一
藍原秋子

令和5年10月1日の「朝日歌壇」に掲載された歌である。言うまでもなく「処理水」とは、福島第一原発の廃炉作業のなかで生じる汚染水から、放射性物質を浄化する処理をした水のことである。公式には、これを「処理水」と呼んでいる。汚染水と処理水。汚染物質の処理をしたから処理水というわけであろう。武器や兵器を防衛装備と呼ぶように、ことばを換えれば、指しているものは同じでもずいぶんとイメージがちがう。

ほかに、ことばや表現のしかたによってイメージが異なるものがある。例えばヤングケアラー。私はこのことばをはじめ聞いていたとき、とてもいい印象を持った。ヤングだし、ケアラーと言えば誰かのお世話をする人。でも実際

には、周囲に頼る人もなく、若くして親や兄妹など近親者の介護をしている人を指す。若年介護者と言えばそのイメージがはつきり伝わってきたと思う。片仮名にするとどこか涼しげで介護の苦勞も薄まるかのようである。

なにか事情があつて呼び名が変わることもある。SNSのツイッターは社長の気まぐれではないと思うけれど社名が「X」に変わった。今世を騒がせている「ジャーニーズ」もコトが発覚した、というより目をつぶつてきたことがあふれ出し、社名を「SMILE-UP」に変えるとのことだ。問題人物の名前を冠しておくわけにはいかないのだからけれど、それで会社が変われるかどうかが大事なところ。

そういえば「統一教会」は、いつのまにか「世界平和統一家庭連合」と名乗っている。改称した経緯など分からないうが、それなりに事情があつたのだろうと推測する。ニュースなどで「世界平和」と現在の名称で言わずに、「旧統一教会」と呼んでいるのは、そのほうが通りがよいというだけではなく、名称によって団体のイメージも表現しているのではないだろうか。ちなみに先の「X」も、まだ「旧ツイッター」と注釈付きである。

うっかり本音が出たのかどうか、処理水を「汚染水」と言つてしまい、後日、頭を下げていた某大臣も、「旧汚染水」とでも言えばそんなに非難されずに済んだのかもしれないね。